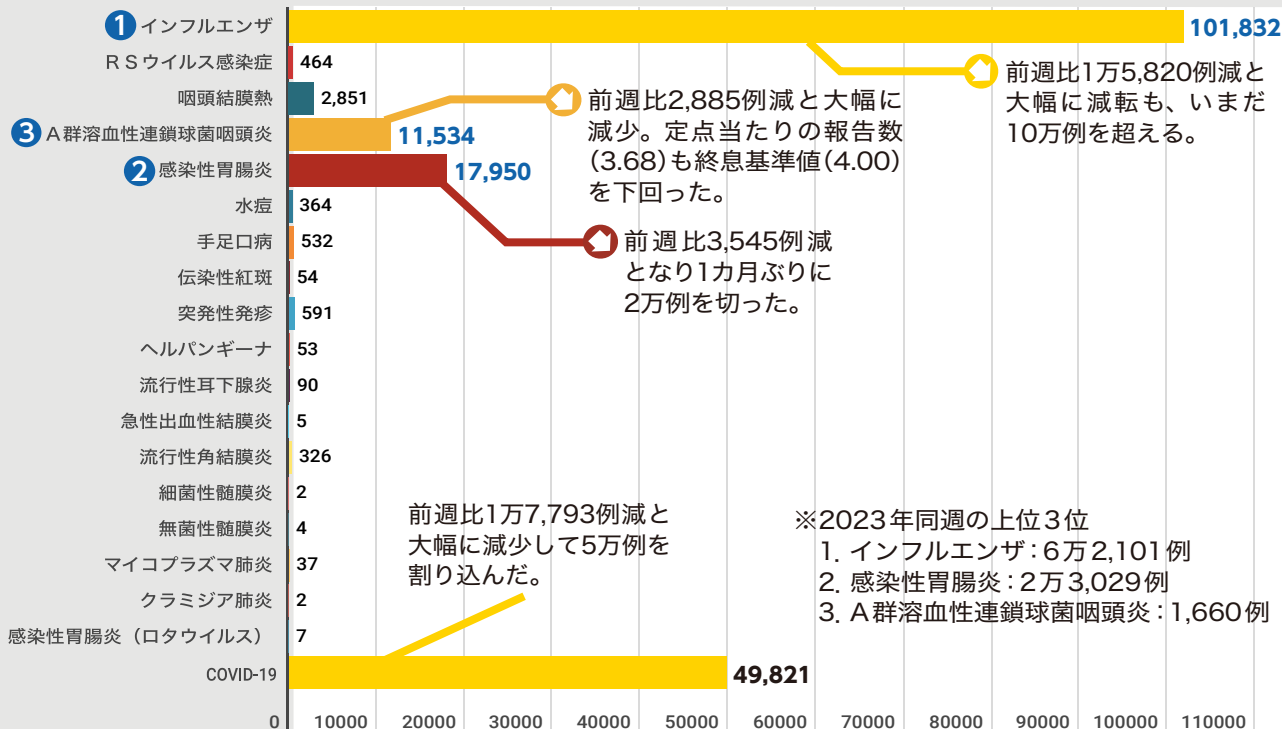


国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

インフル、今年初の減少も10万例超え

丸数字は上位3位



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

①インフルエンザ

報告数

- 東京都: 8,909例
- 神奈川県: 8,598例
- 埼玉県: 7,541例

定点当たりの報告数(20.64)

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|-----------------|
| 1. 福岡県: 37.07 | 4. 埼玉県: 29.00 | 7. 宮崎県: 26.47 | 10. 千葉県: 23.86 |
| 2. 大分県: 30.47 | 5. 沖縄県: 28.33 | 8. 石川県: 25.44 | 11. 神奈川県: 23.62 |
| 3. 熊本県: 29.91 | 6. 佐賀県: 26.67 | 9. 愛知県: 24.28 | 12. 福井県: 23.31 |

②感染性胃腸炎

報告数

- 東京都: 1,611例
- 埼玉県: 1,181例
- 大阪府: 1,163例

定点当たりの報告数(5.73)

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 石川県: 10.83 | 4. 愛媛県: 9.65 | 7. 広島県: 8.25 | 10. 鳥取県: 7.95 |
| 2. 大分県: 10.11 | 5. 宮崎県: 8.72 | 8. 富山県: 8.17 | 11. 岩手県: 7.84 |
| 3. 鹿児島県: 9.69 | 6. 香川県: 8.54 | 9. 岡山県: 7.98 | 12. 三重県: 7.42 |

③A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

- 北海道: 1,048例
- 東京都: 870例
- 福岡県: 859例

定点当たりの報告数(3.68)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 鳥取県: 8.58 | 4. 福岡県: 7.16 | 7. 山口県: 5.40 | 10. 富山県: 5.10 |
| 2. 山形県: 7.61 | 5. 高知県: 6.46 | 8. 茨城県: 5.39 | 11. 福井県: 5.00 |
| 3. 北海道: 7.54 | 6. 愛媛県: 6.08 | 9. 新潟県: 5.25 | 12. 沖縄県: 4.94 |

今週の感染症動向

5週連続で増加していたインフルエンザは、前週比1万5,820例減と今年初めて減少。定点当たり報告数が警報レベル(30.00)を超える地域は前週の7府県から福岡県(37.07)と大分県(30.47)の2県に縮小したが、定点当たり報告数が注意報レベル(10.00)の地域は41都道府県と全国的な流行状態にある。感染性胃腸炎は前週比3,545例減少して2万例を下回った。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎も前週比2,885例減と大幅に減少し、定点当たりの報告数はようやく終息基準値(4.00)を下回ったが、鳥取県(8.58)ではいまだ警報基準値(8.00)を超えている。

COVID-19は2万例近い大幅減少となり5万例を切ったが、定点当たり報告数(10.10)は前週に引き続き石川県(15.48)が最多で、七尾市を中心とする能登中部では前週(44.00)、今週(40.50)とも40を超えている。石川県では感染性胃腸炎(10.83)、インフルエンザ(25.44)の報告数も多く、避難所での集団感染が懸念される。全体的に感染症は減少傾向にあるが、寒暖差が大きい時期の体調管理に気を付けたい。